



東証JASDAQ上場

証券コード  
6918

 AVAL DATA CORPORATION

 A'VALue+

# 株式会社アバールデータ

## 2017年3月期 第2四半期決算説明会

1. 会社概要
2. 2017年3月期 第2四半期業績報告
3. 2017年3月期 業績予想
4. 今後の展開

2016年11月18日



東証JASDAQ上場

証券コード  
6918

 **AVAL DATA CORPORATION**

**A'VALue<sup>+</sup>**

# 1. 会社概要



私たちは、お客様に「価値 (value) 」を提供し「信頼」を獲得します。

## 株式会社アバールデータ

★本社/町田事業所	東京都町田市
★工場/厚木事業所	神奈川県厚木市
★設立	1959年8月（58期）
★資本金	23億5,409万円
★従業員	175名
ISO9001認証取得	（1995年）
ISO1401認証取得	（2001年）
土地面積	6,426m <sup>2</sup> （町田 1,977m <sup>2</sup> / 厚木 4,449m <sup>2</sup> ）
延床面積	6,934m <sup>2</sup> （町田 2,957m <sup>2</sup> / 厚木 3,977m <sup>2</sup> ）



本社/町田事業所



工場/厚木事業所

## 株式会社アバール長崎

★所在地	長崎県諫早市
★設立	1987年11月
★資本金	1億3,400万円
★従業員	132名
ISO9001認証取得	（1996年）
ISO1401認証取得	（2006年）
土地面積	8,885m <sup>2</sup>
延床面積	3,655m <sup>2</sup>



子会社

- |             |  |                                         |
|-------------|--|-----------------------------------------|
| 1959(昭和34年) |  | 応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社（東京・渋谷区）を設立        |
| 1979(昭和54年) |  | 初の自社製品ポータブルタイプのPROMプログラム「Pecker」を開発・発表  |
| 1987(昭和52年) |  | 自社製品の開発・製造拠点として「株式会社アバール長崎」を設立          |
| 1989(平成 元年) |  | 社名を「株式会社アバールデータ」に変更                     |
| 1991(平成 3年) |  | 現 東証JASDAQへ株式公開                         |
| 1996(平成 8年) |  | (株)アバール長崎：CTI製品を初めて国産化                  |
| 2002(平成14年) |  | 光を使った高速通信モジュールの開発、販売開始                  |
| 2010(平成22年) |  | (株)アバール長崎：「スマートパワーシステム」シリーズ、販売開始        |
| 2011(平成23年) |  | カメラ高速通信規格CoaXPress製品開発、販売開始             |
| 2013(平成25年) |  | 「医療機器製造業許可：一般」の許可取得                     |
|             |  | イーソル株式会社と超高速データ処理エンジン& 関連ソリューション開発で協業開始 |
| 2014(平成26年) |  | カラー光切断法による3次元形状測定システム、開発                |
|             |  | (株)フィックスターズとデータ資本提携およびSSDに関する共同開発開始     |
|             |  | シーシーエス株式会社と「卓上型高速・高分解能カラー3Dスキャナー」共同開発   |
| 2015(平成27年) |  | 近赤外線カメラ開発、販売開始                          |
| 2016(平成28年) |  | 東京エレクトロンデバイス(株)との業務資本提携                 |

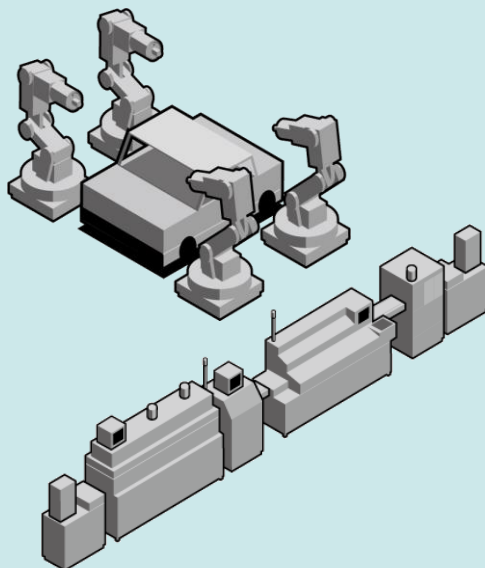
アバールデータは  
工場などで使われる装置へ**組込む**  
**モジュール（部品）**を提供しています。

アバールデータ製品



高信頼/長期供給設計

工場に設置される装置

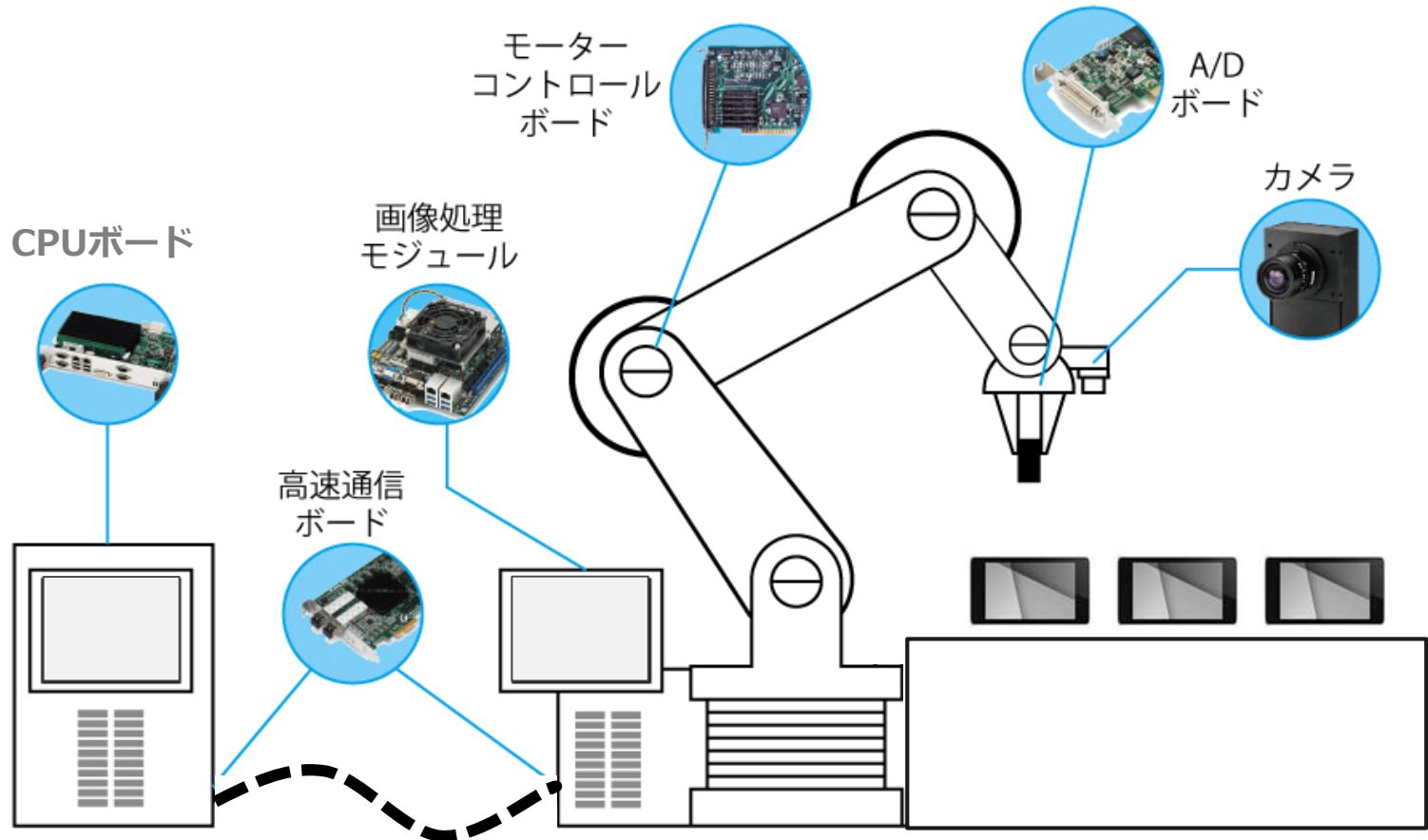


市場のさまざまな製品



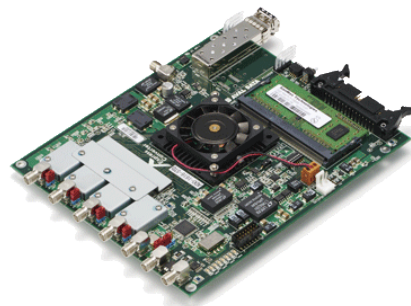
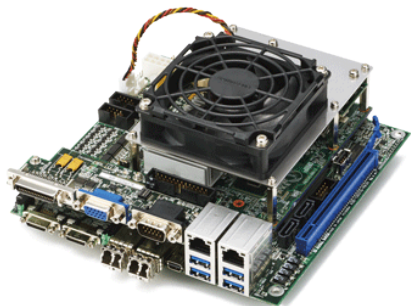
日本のモノづくりの縁の下の力持ち

工場の装置のいろいろな部分に当社製品が**組込**まれています。



## 組み込みモジュール

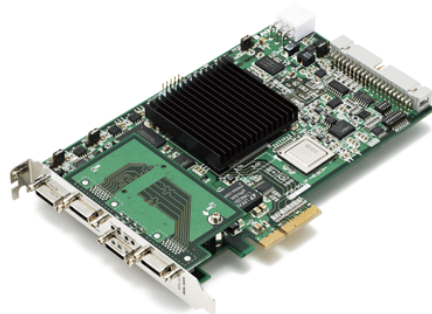
組み込み分野で業界を  
リードする技術と製品



産業用ロボット、計測・通信機  
で活躍しています。

## 画像モジュール

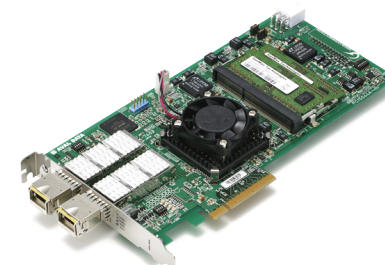
国内トップクラスの実績



欠陥検知や位置決め等に使います。

## 計測通信機器

産業用通信で最高速



機器間的高速通信に使われます。

## アバール長崎

国内市場をリードする

CTI技術



FAX、コールセンター等  
で使用されています。



スマートパワーシステム



# 「超高速」がキーワード



3つのノウハウを組み合わせ  
高速・最適化されたシステム設計が得意

# 組み込み

デジタル信号／アナログ信号に精通

FPGAの高度な設計ノウハウを保有

※FPGA (Field Programmable Gate Array)  
後からでも回路の書き換えが可能なロジック・デバイス

長年にわたる組み込み用ソフトウェアの開発



## 画像処理

画像取込みボードでは**国内トップクラス**

**近赤外線カメラ**のシリーズ化

各種カメラとの**豊富な接続実績**

**3次元計測**で独自アルゴリズムを保有

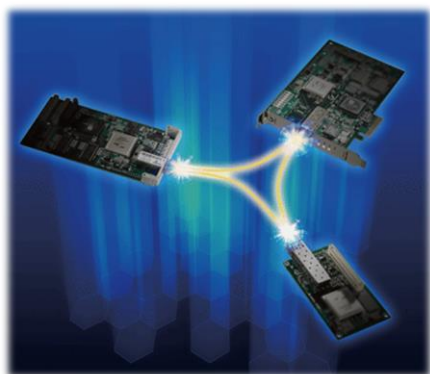


## 超高速通信

光通信の**独自ノウハウ**を保有

**医療、検査**などの様々な分野に**適応可能**

最先端の高速デバイスにも**十分な速度**



## 自社工場

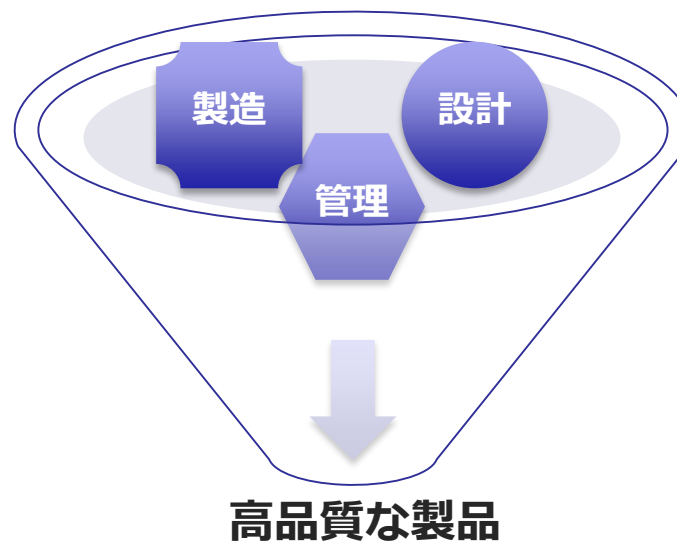
設計と製造が一体となった総合品質

出荷後のトレーサビリティ（追跡調査可能）

少量多品種の対応



厚木工場製造ライン





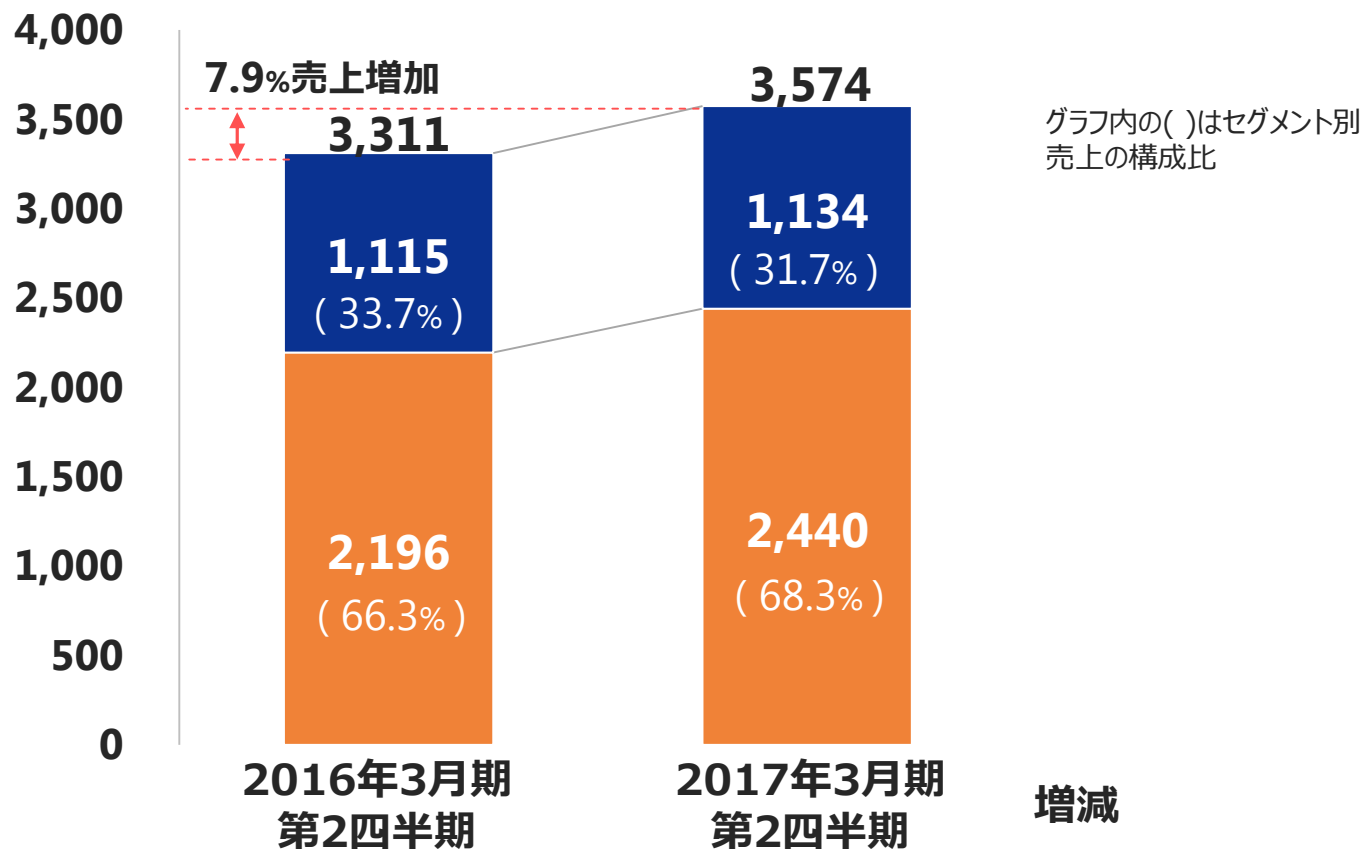
証券コード  
6918

 **AVAL DATA CORPORATION**

**A'VALue<sup>+</sup>**

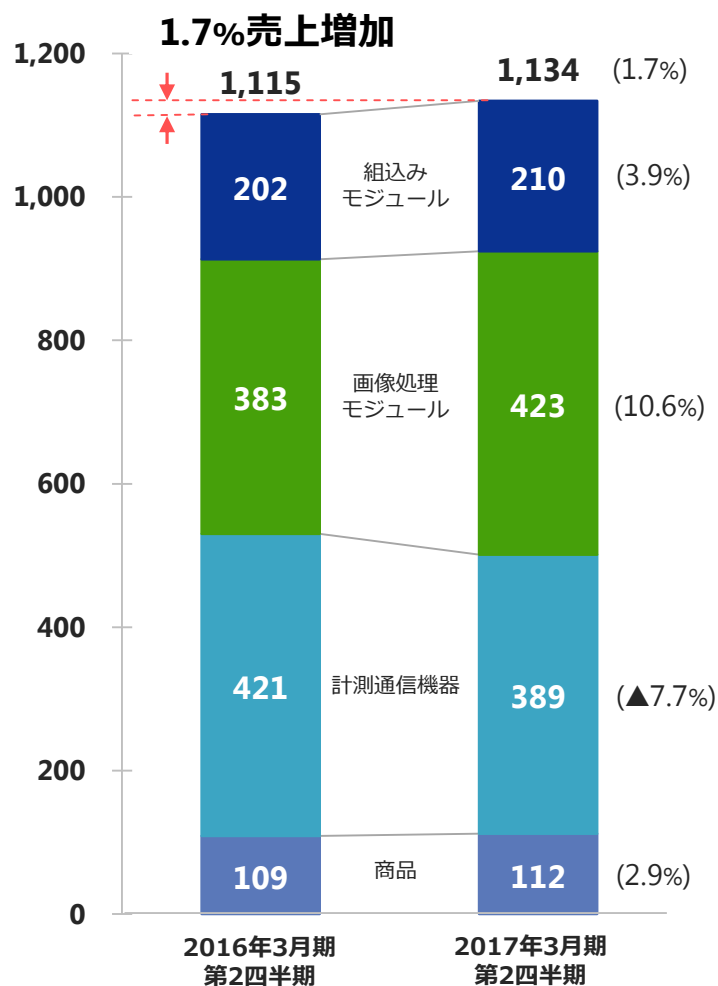
## 2. 2017年3月期 第2四半期業績報告

[期間：2016年4月1日～9月30日]

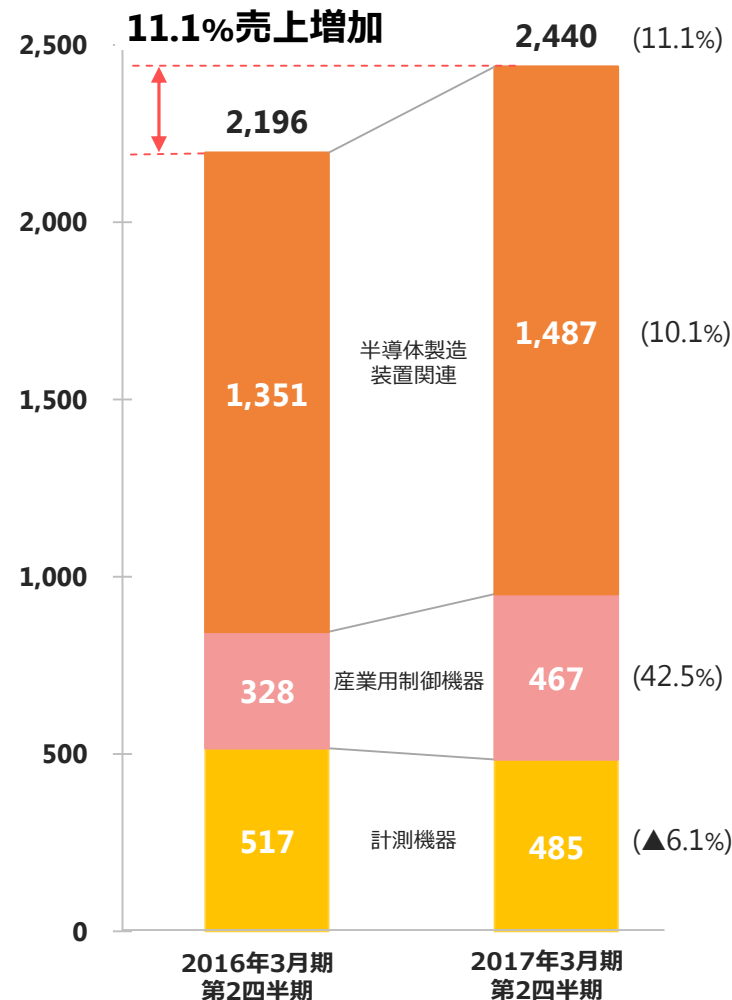


セグメント	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減
■ 自社製品	1,115	1,134	1.7%
■ 受託製品	2,196	2,440	11.1%
売上合計	3,311	3,574	7.9%

## 自社製品

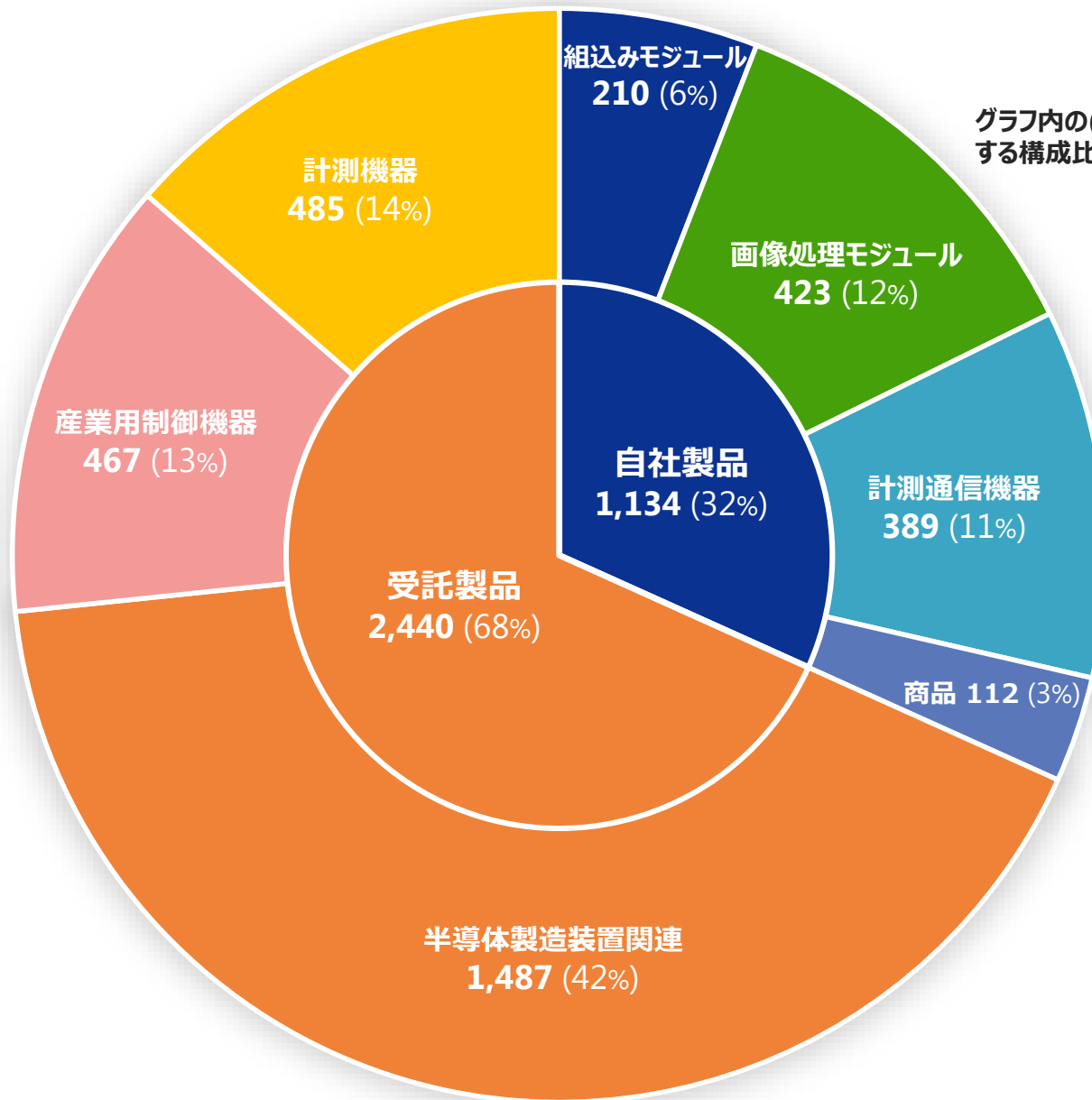


## 受託製品



グラフ内の( )は増減率





グラフ内の( )は進捗率

## ● 組込みモジュール

FA全般及び医療機器関連における新規受注は堅調に推移しており、売上高はわずかなら増加。

→ 売上高 210百万円（前年同期比3.9%増）

## ● 画像処理モジュール

各種検査装置においては積極的な新製品開発の推進に加え、食品・医療品などの新分野開拓も順調。売上高は増加。

→ 売上高 423百万円（前年同期比10.6%増）

## ● 計測通信機器

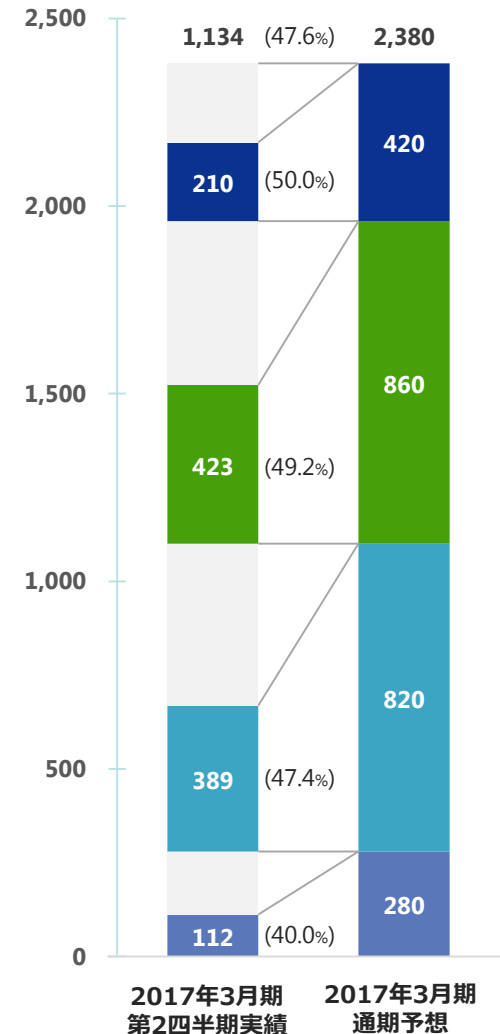
超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」は、新規検査装置向けの開拓が順調。一方で、CTI関連の需要が一巡したため、売上高は減少。

→ 売上高 389百万円（前年同期比7.7%減）

## ● 商品（自社製品関連）

自社製品全般において堅調であったため、売上高は増加。

→ 売上高 112百万円（前年同期比2.9%増）



グラフ内の( )は進捗率

### ● 半導体製造装置関連

大手半導体メーカーの3D-NAND向け設備投資が続くなか、半導体製造装置関連全般において、売上高は増加。

→ 売上高 1,487百万円（前年同期比10.1%増）

### ● 産業用制御機器

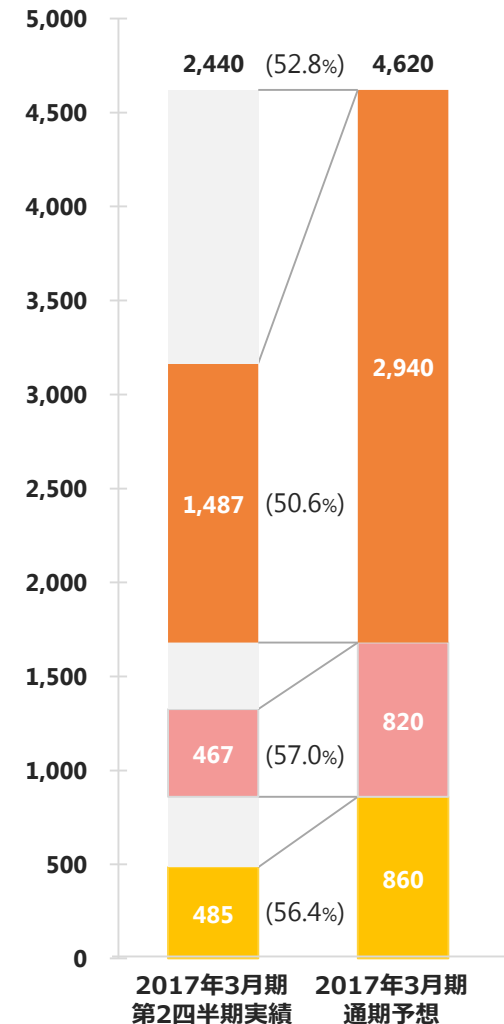
各種の産業用装置の新規展開が順調に進んだことに加え、社会インフラ関連が堅調であったため、売上高は大幅に増加。

→ 売上高 467百万円（前年同期比42.5%増）

### ● 計測機器

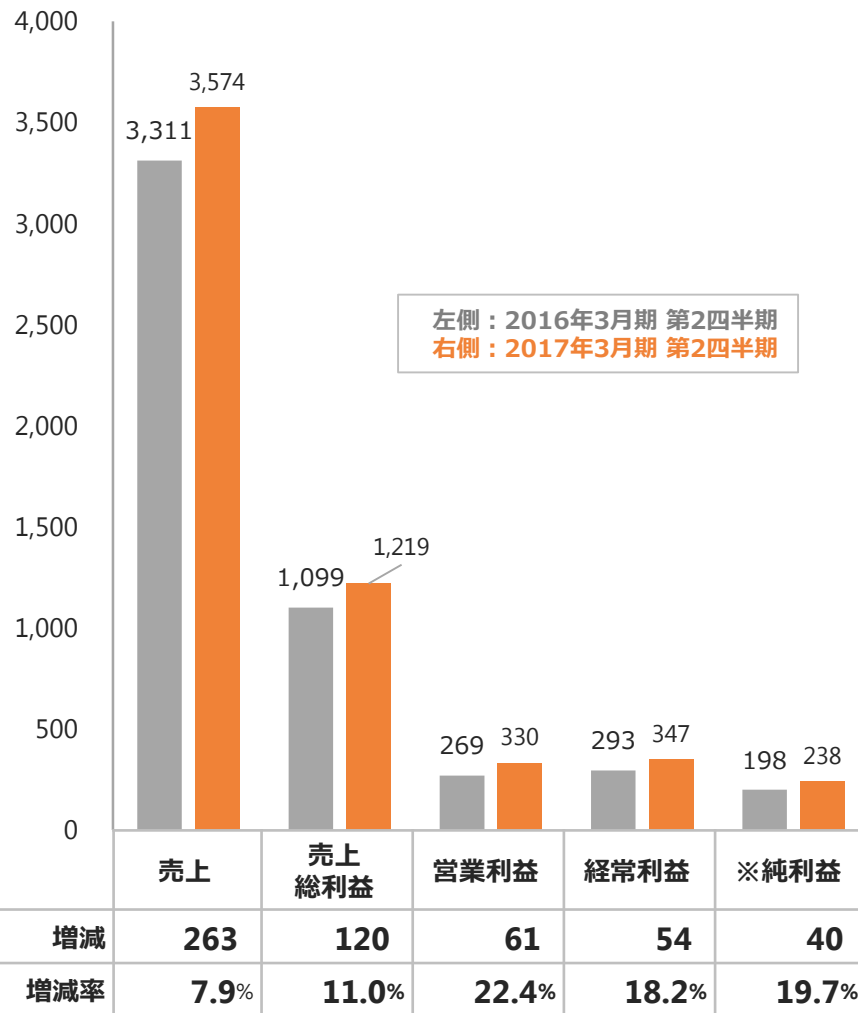
各種計測機器の需要は回復傾向にありますが、省エネ関連機器の一段落により、売上高は減少。

→ 売上高 485百万円（前年同期比6.1%減）



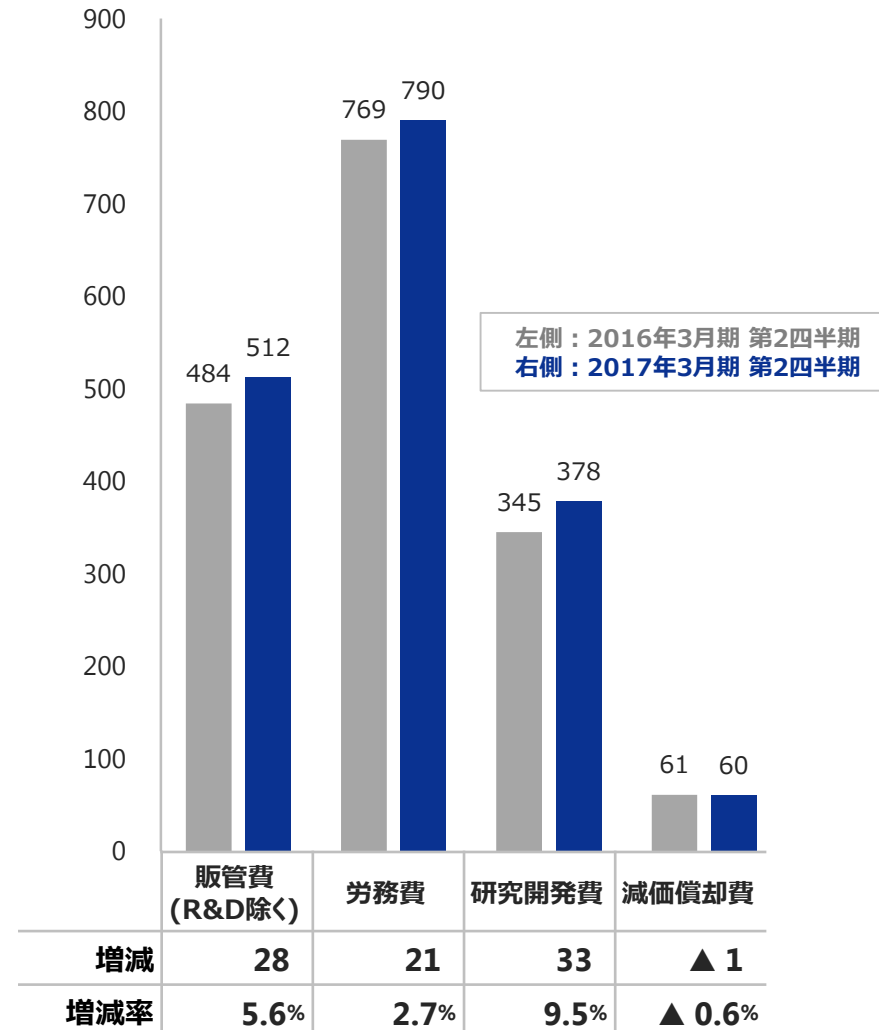
## 前年対比

### 売上・利益



左側：2016年3月期 第2四半期  
右側：2017年3月期 第2四半期

### 経費

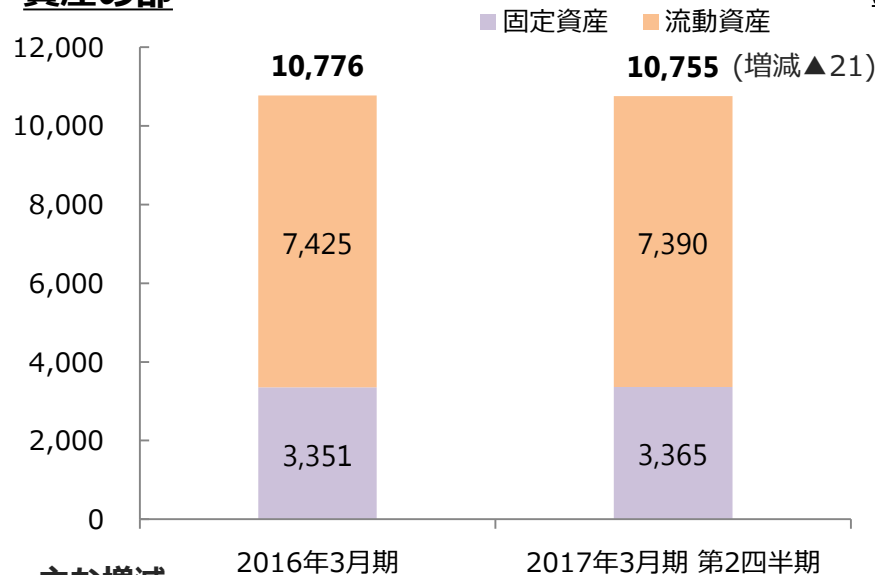


左側：2016年3月期 第2四半期  
右側：2017年3月期 第2四半期

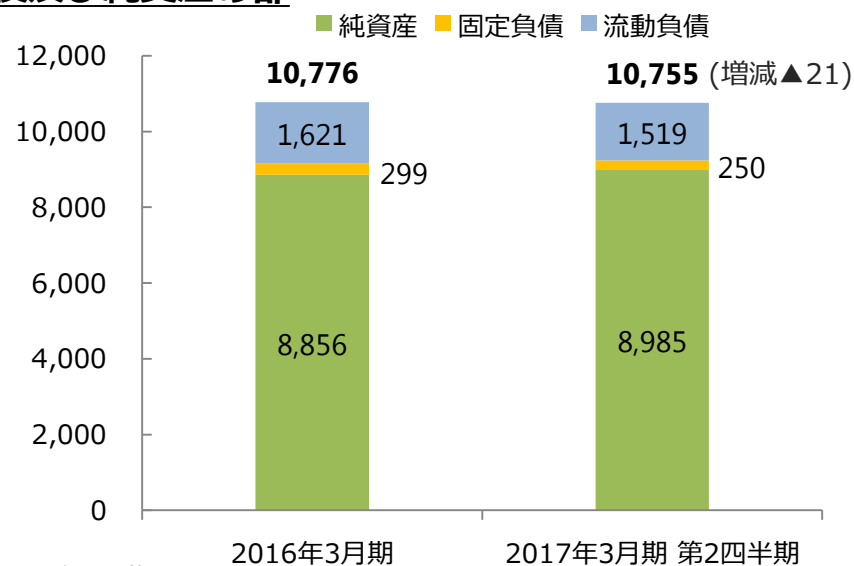
※ 親会社株主に帰属する当期純利益

## ➤ 自己資本比率 78.0% （2.4ポイントアップ）

### 資産の部



### 負債及び純資産の部

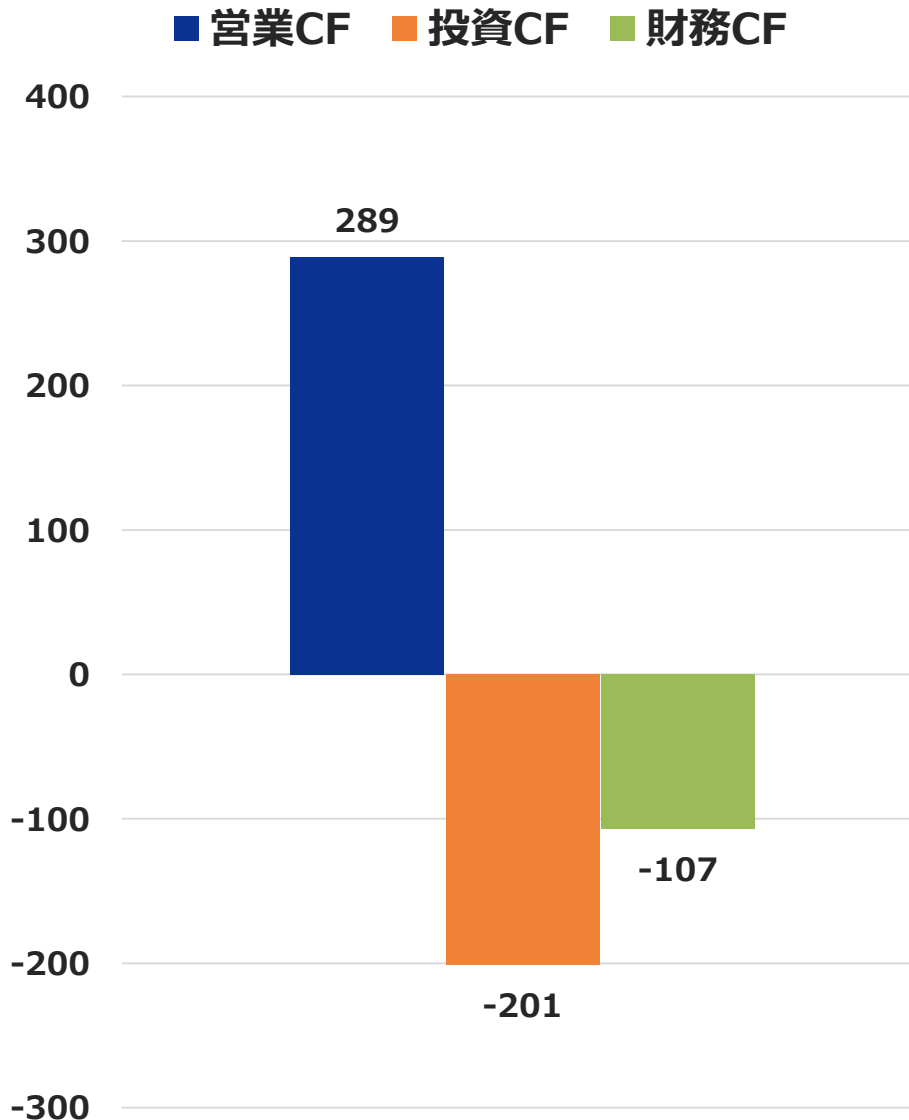


### 主な増減

<b>流動資産</b>	<b>▲ 35</b>
現金・預金	91
受取手形・売掛金・電子債権	▲ 50
棚卸資産	▲ 53
<b>固定資産</b>	<b>14</b>
投資有価証券	▲ 14
有形・無形固定資産	28

### 主な増減

<b>流動負債</b>	<b>▲ 102</b>
賞与引当金	▲ 23
未払税金	▲ 89
支払手形・買掛金	40
前受金	▲ 53
<b>固定負債</b>	<b>▲ 49</b>
長期借入金	▲ 26
<b>純資産</b>	<b>130</b>



## 主なキャッシュフロー項目

### 営業活動によるCF 289

税金等調整前四半期純利益	347
減価償却費計上	60
売上債権の減少	50
棚卸資産の減少	53
消費税・法人税等の支払い	▲ 185

### 投資活動によるCF ▲ 201

定期預金の預入差額	▲ 100
投資有価証券の取得	▲ 26
固定資産の取得	▲ 76

※フリーキャッシュフロー 88

### 財務活動によるCF ▲ 107

借入金の返金	▲ 15
自己株式の売却	54
当社株式配当金支払い	▲ 102



証券コード  
6918

 **AVAL DATA CORPORATION**

**A'VALue<sup>+</sup>**

### **3. 2017年3月期 業績予想**

**[期間：2016年4月1日～2017年3月31日]**

# 2017年3月期 業績予想 (連結・個別)

## 2017年3月期 中間期 実績

## 2017年3月期 通期 予想

セグメント	品目	連結		個別		連結		個別	
		売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率
自社製品	組込みモジュール	210	3.9%	211	3.1%	420	▲8.5%	420	▲10.2%
	画像処理モジュール	423	10.6%	428	11.6%	860	8.0%	860	7.8%
	計測通信機器	389	▲7.7%	239	38.4%	820	▲4.4%	440	24.5%
	自社製品関連商品	112	2.9%	103	6.7%	280	▲9.6%	250	17.9%
	小計	1,134	1.7%	980	14.4%	2,380	▲1.7%	1,970	7.6%
	セグメント利益	206	▲10.1%	—	—	—	—	—	—
受託製品	半導体製造装置関連	1,487	10.1%	1,079	3.3%	2,940	7.4%	2,240	8.6%
	産業用制御機器	467	42.5%	151	8.9%	820	13.9%	350	11.6%
	計測機器	485	▲6.1%	166	13.7%	860	▲20.3%	360	▲0.4%
	小計	2,440	11.1%	1,397	5.0%	4,620	1.9%	2,950	7.8%
	セグメント利益	383	36.5%	—	—	—	—	—	—
	売上合計	3,574	7.9%	2,420	10.7%	7,000	0.6%	4,920	7.7%
	営業利益	330	22.4%	252	13.4%	670	6.3%	580	13.6%
	経常利益	347	18.2%	386	13.2%	690	4.5%	620	13.1%
	※当期純利益	238	19.7%	215	17.8%	455	5.4%	430	12.1%

※ 連結においては、親会社株主に帰属する当期純利益。

連結各セグメントと利益合計589百万円と営業利益330百万円との差額259百万円はセグメントに属さない全社費用



株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策としております。

## 配当方針

- 安定的な配当に考慮
- 連結配当性向35%を基本に利益還元

## 配当推移

年 度	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想
配当(円)	15	15	25	27 <sup>(注)</sup>
配当性向	30.7%	31.2%	36.5%	37.4%

(注) 中間期 12円(実績) 期末 15円(予想)



証券コード  
6918

 AVAL DATA CORPORATION



## 4. 今後の展開

# SaaS

---

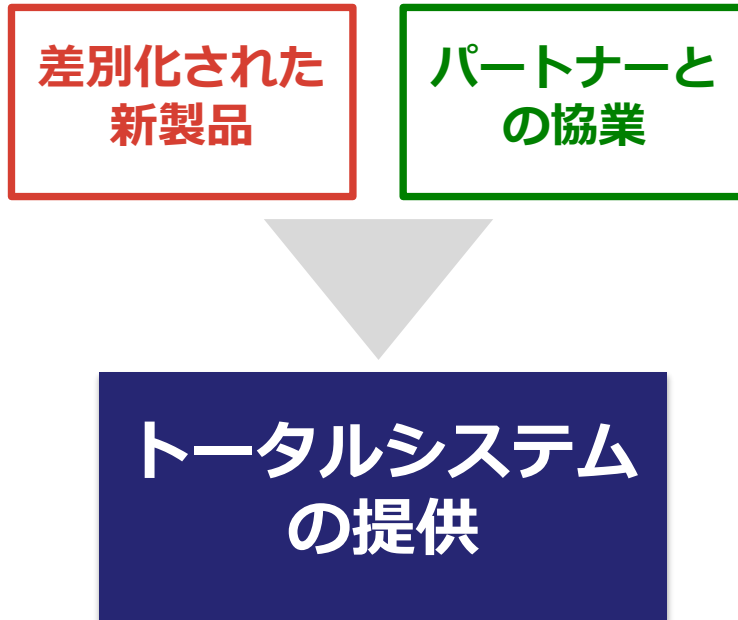
simple and speed

すべてにおいてシンプルに そして 迅速に

## S a S

simple and speed

すべてにおいてシンプルに そして 迅速に

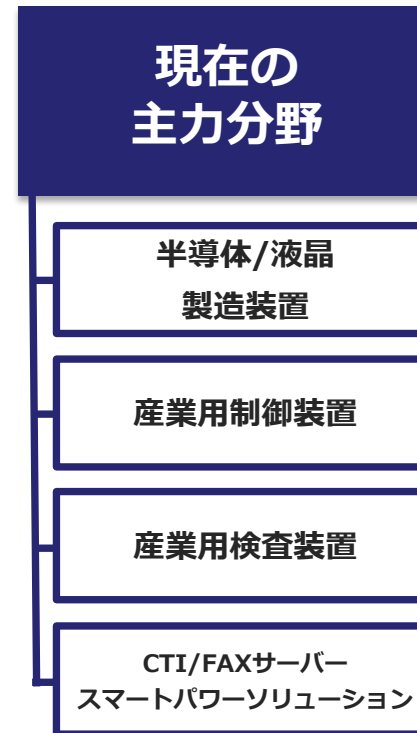


## 新分野への挑戦

主力分野



65% → 55%

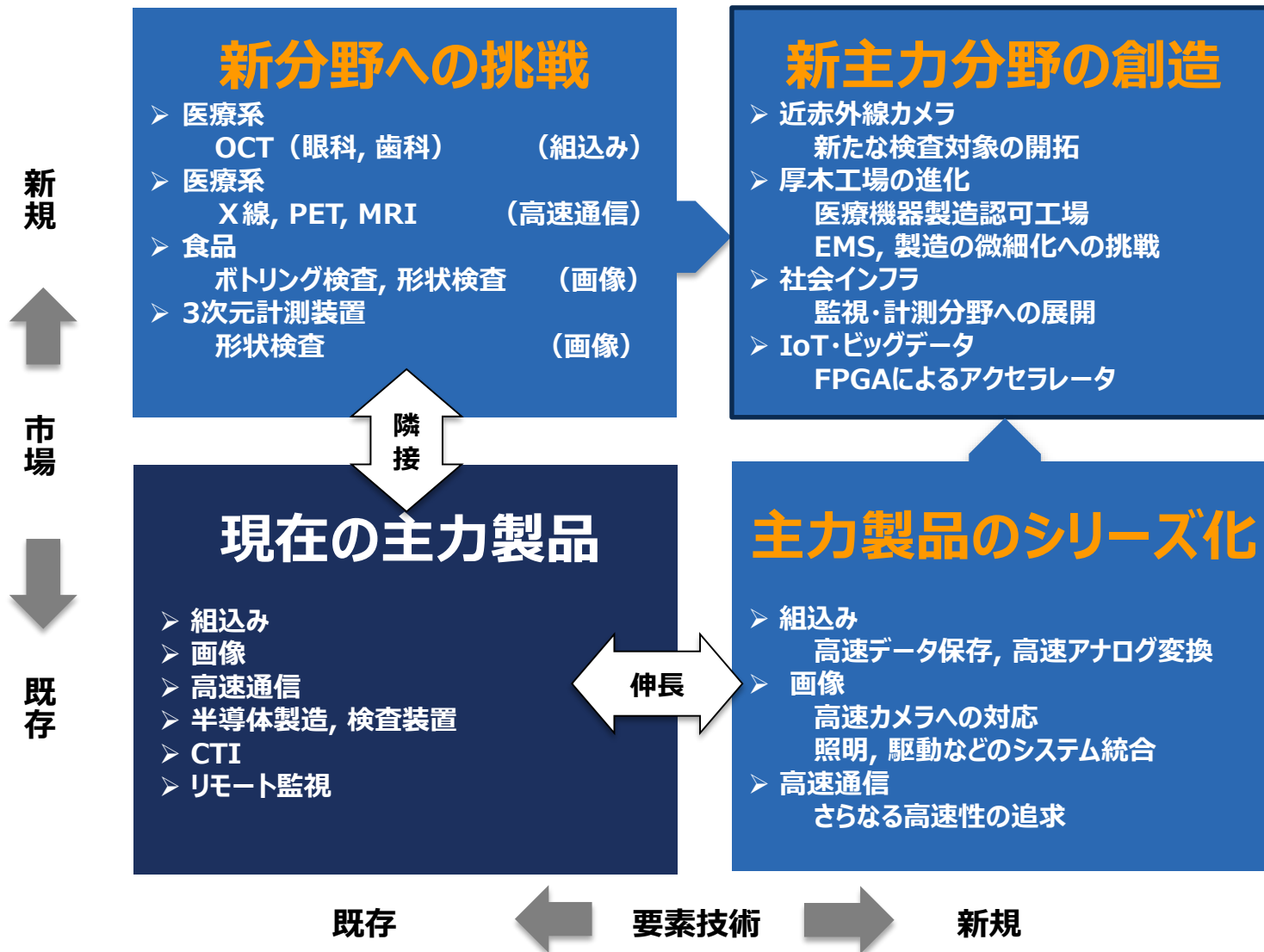


新しい分野



35% → 45%



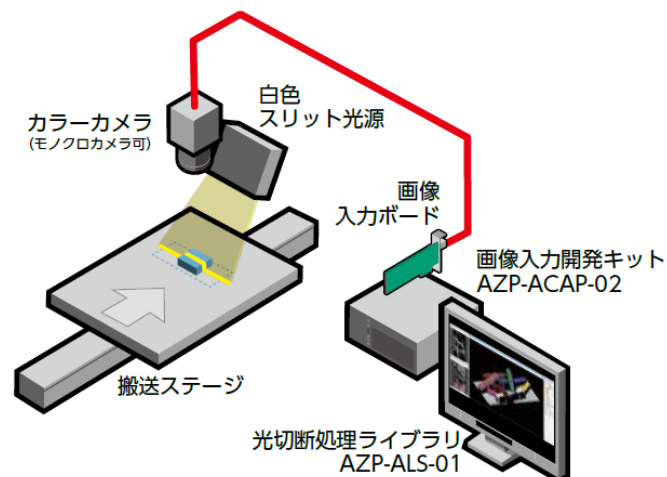


## カラー光切断法アルゴリズムのFPGA化によりCPU負荷 0%



### 測定仕様 (参考値)

出力デプスマップ	16ビットグレースケール
出力テクスチャデータ <sup>※1</sup>	24ビットカラー
画像取込 フレームレート	166fps (640x256サイズの部分読み出し), 1フレームにつき、2ライン分の測定 データを出力
測定視野 <sup>※2</sup>	横方向: 38mm、送り方向: 75mm、 高さ方向: 16mm
分解能	横方向: 0.06mm、送り方向: 0.072mm、 高さ方向: 0.03mm
処理時間 <sup>※3</sup> (640[画素]x高さ[画素] x500[フレーム])	高さ 40 : 213mSec 高さ 100 : 535mSec 高さ 256 : 1738mSec

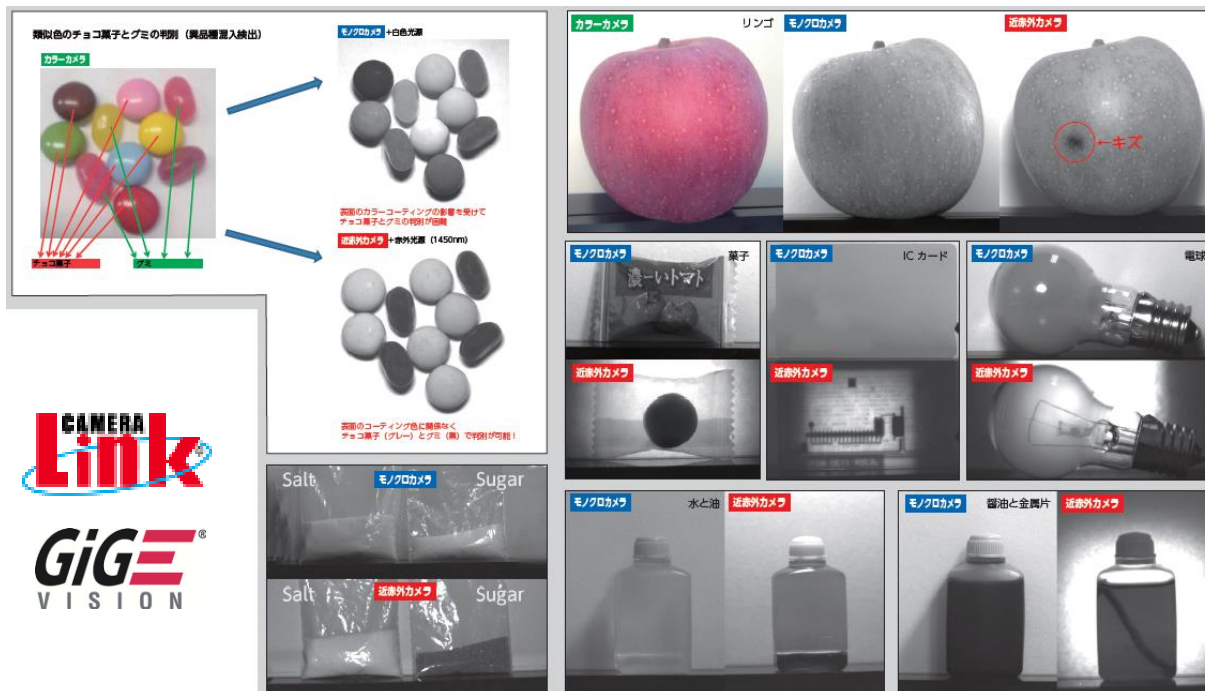


# 近赤外線 (SWIR)VGAカメラ

- 検出波長帯 : 950nm~1700nm
- InGaAs VGA センサー使用

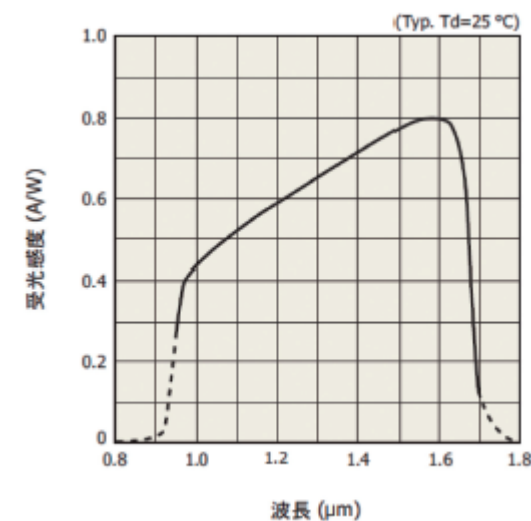


ABA-003IR



CAMERA Link

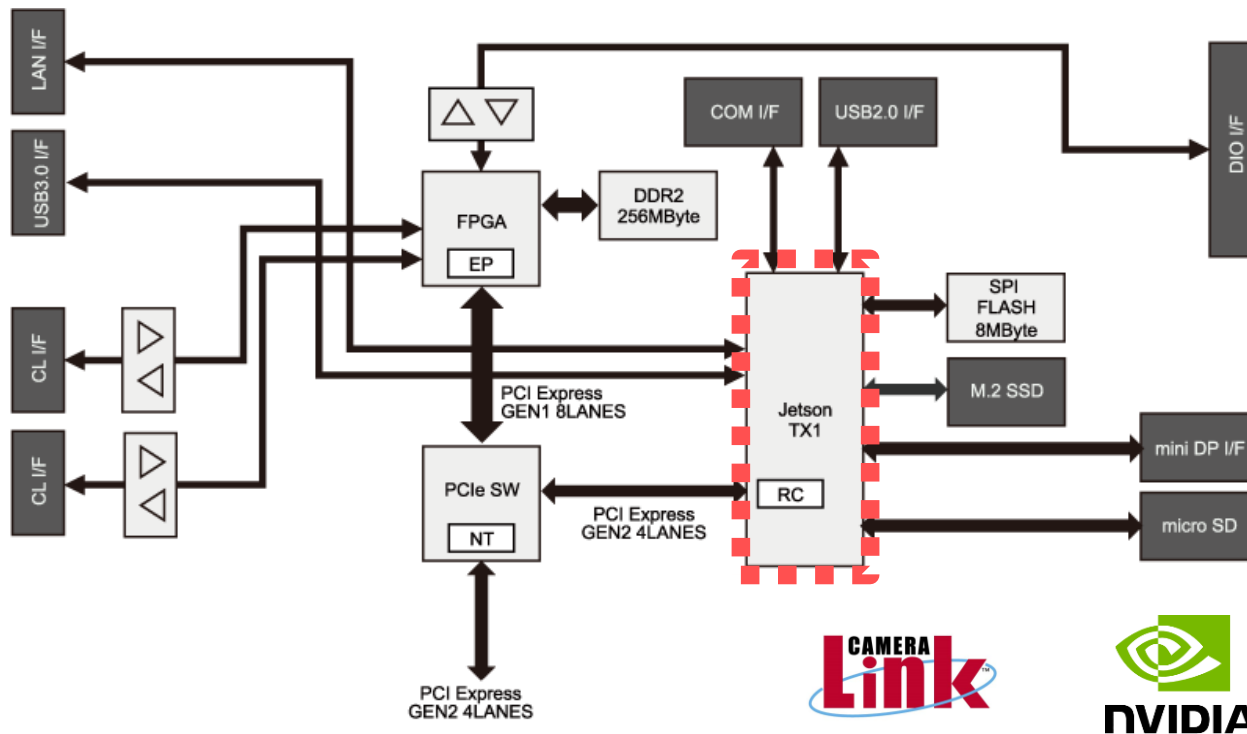
GiGE VISION



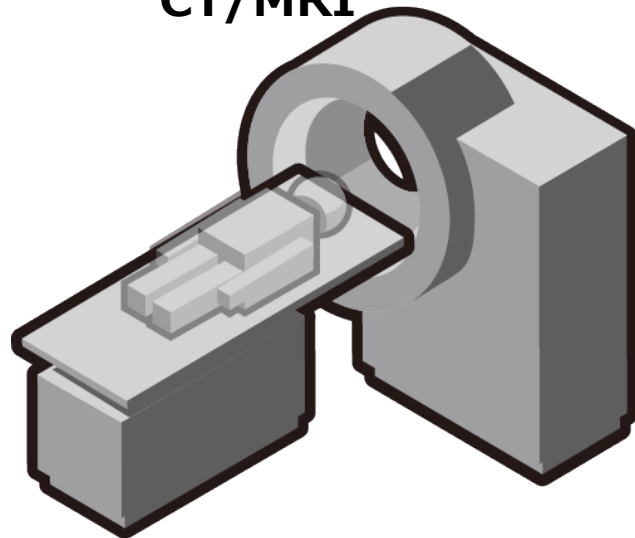
# GPU搭載画像処理ボード

NVIDIA Jetson TX1 SOM Tegra x1 搭載

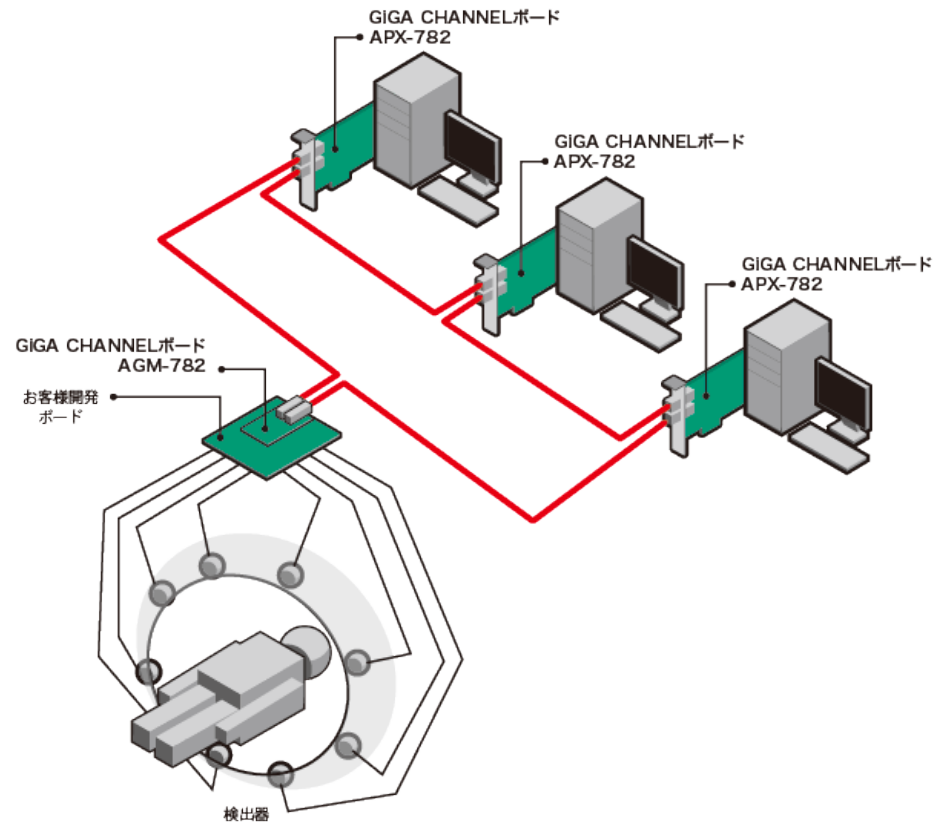
- ・ 256 Core GPU (Maxwellアーキテクチャ)
- ・ 64bit ARM Cortex-A57 CPU



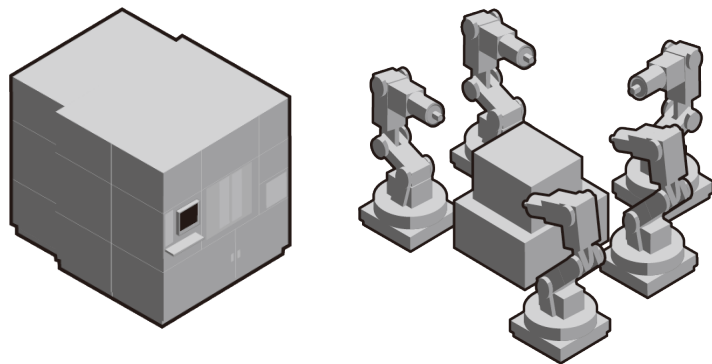
## CT/MRI



## 医療装置

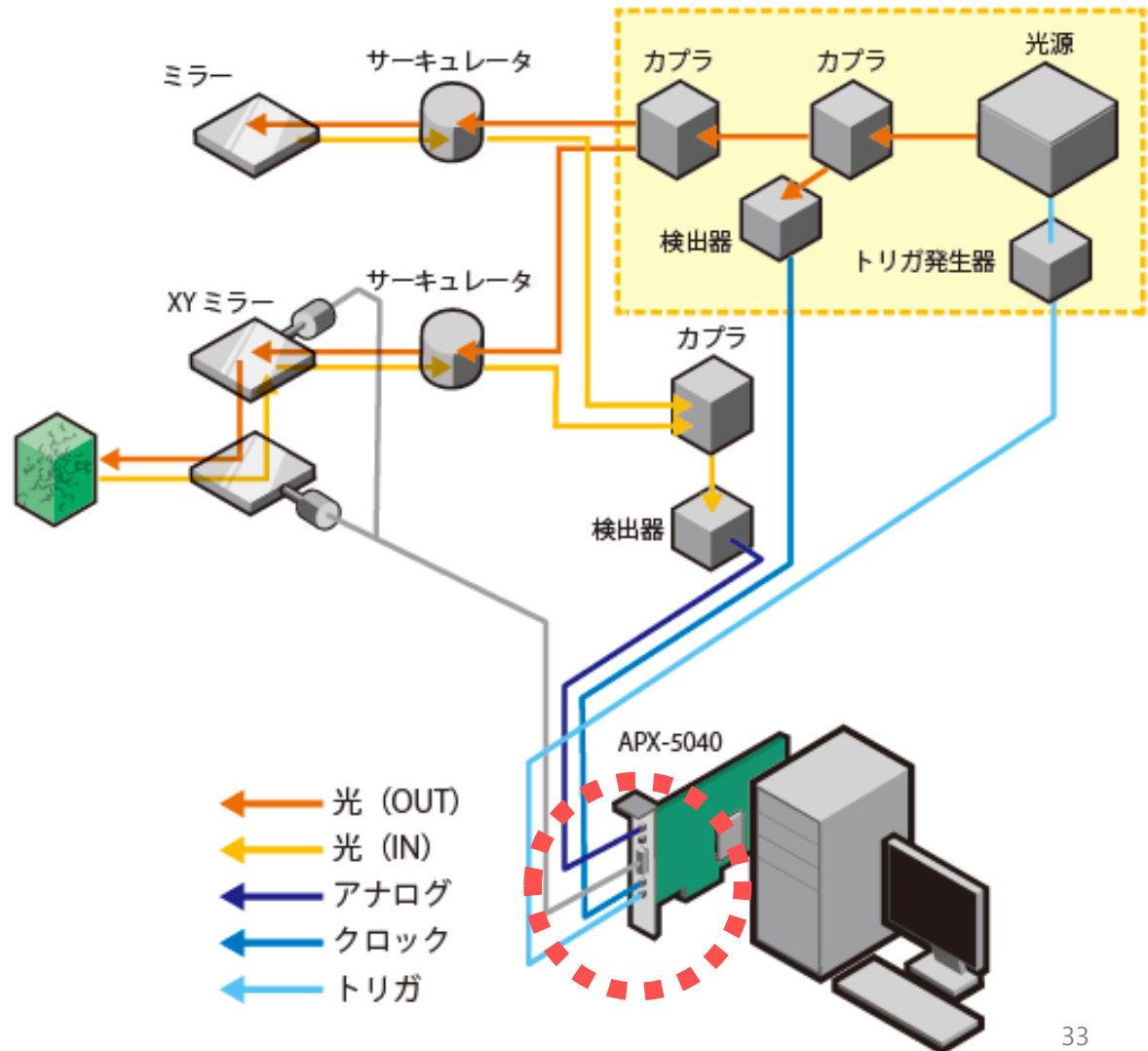
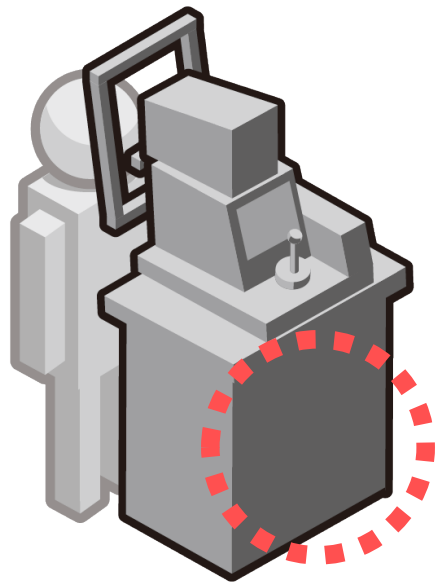


## 製造装置





## 医療装置・OCT



## 新たな飛躍

成長事業の確立（新分野への挑戦）

近赤外線・医療・社会インフラ

体質強化（スリムな企業体質）

少数精鋭・協業パートナーとの連携強化

生産性の拡大（微細化、多品種）

EMSへの挑戦・生産システムの最適化

連結  
売上

84億円

経常  
利益率

11%

ROE

8%

配当  
性向

35%

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等は、本資料発表日現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えていただきますようお願い申し上げます。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。